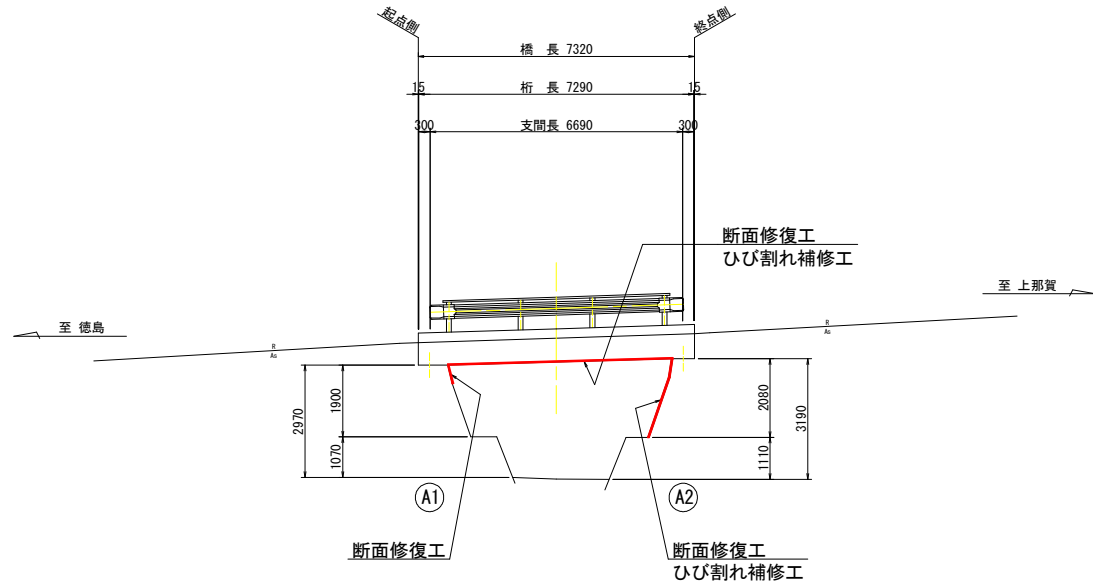
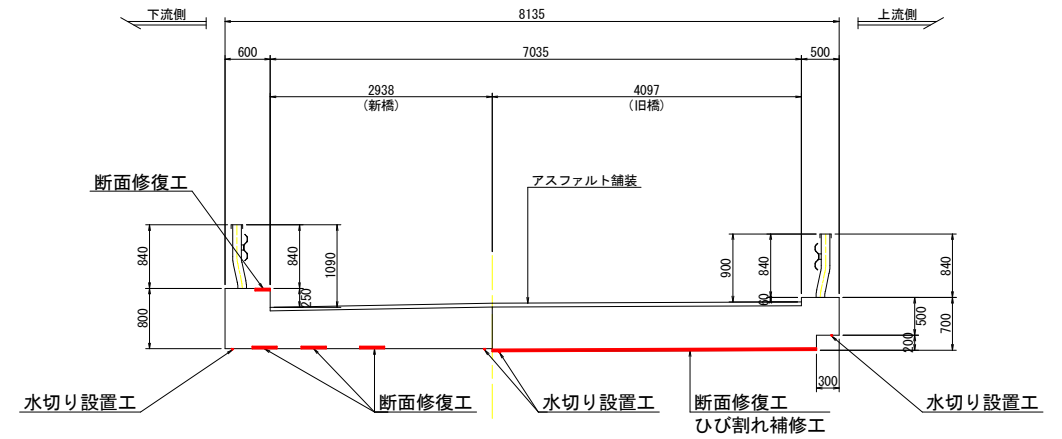


小谷橋 補修計画一般図

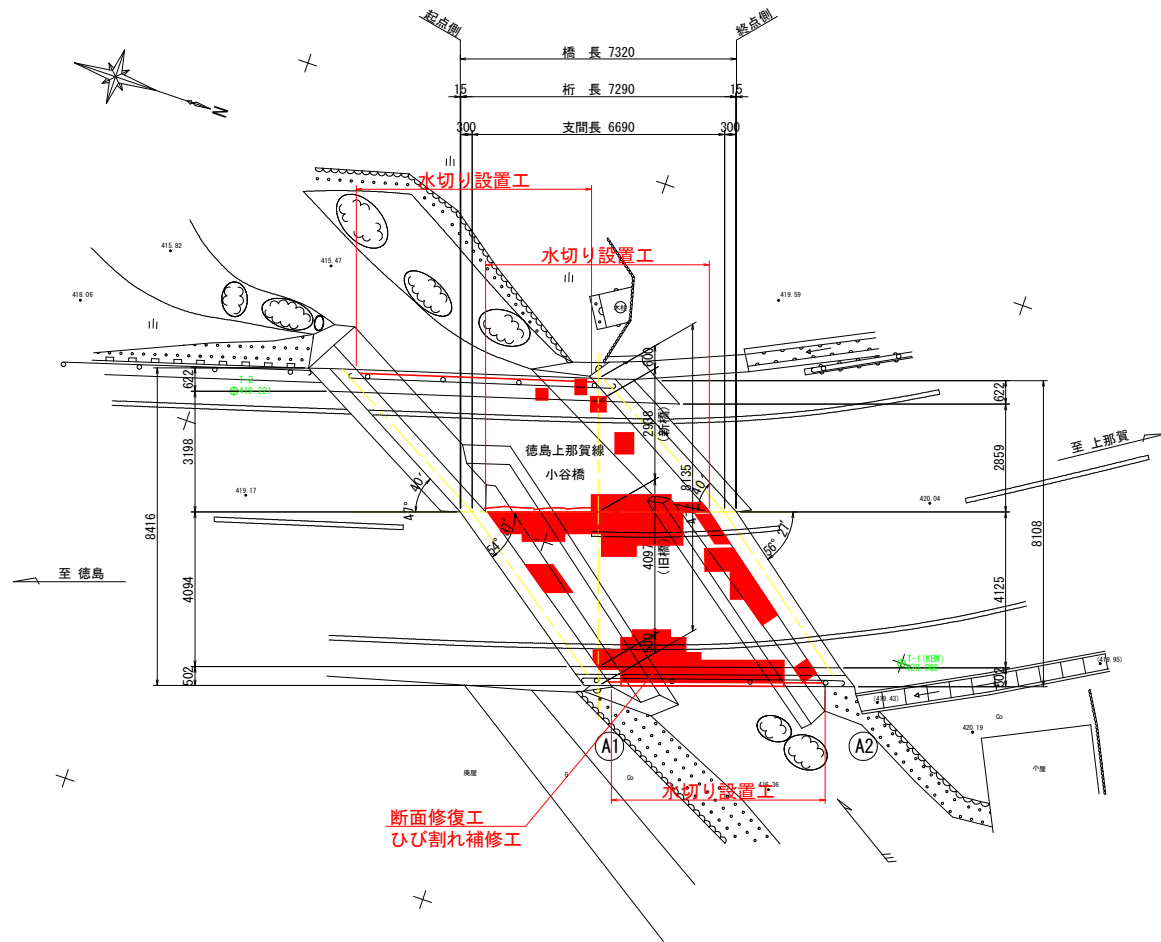
側面図 S=1:100



断面図 S=1:50



平面図 S=1:100

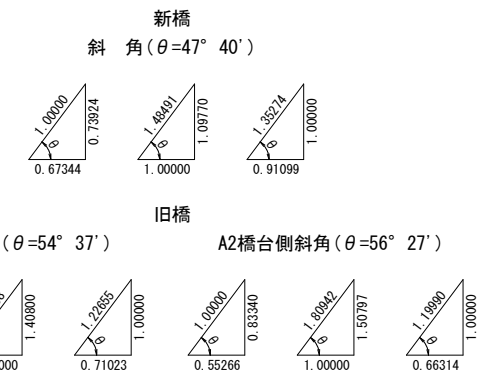


小谷橋 補修工事内容一覧

工種	仕様
断面修復工	ポリマーセメントモルタル
ひび割れ補修工	エポキシ樹脂低圧注入、可とう性エポキシ樹脂充填
水切り設置工	あと施工型(軟質PVC)

注記)

1. 施工前に調査を実施し、施工範囲及び施工数量について協議を行うこと。
2. 寸法は、現場実測後決定する。



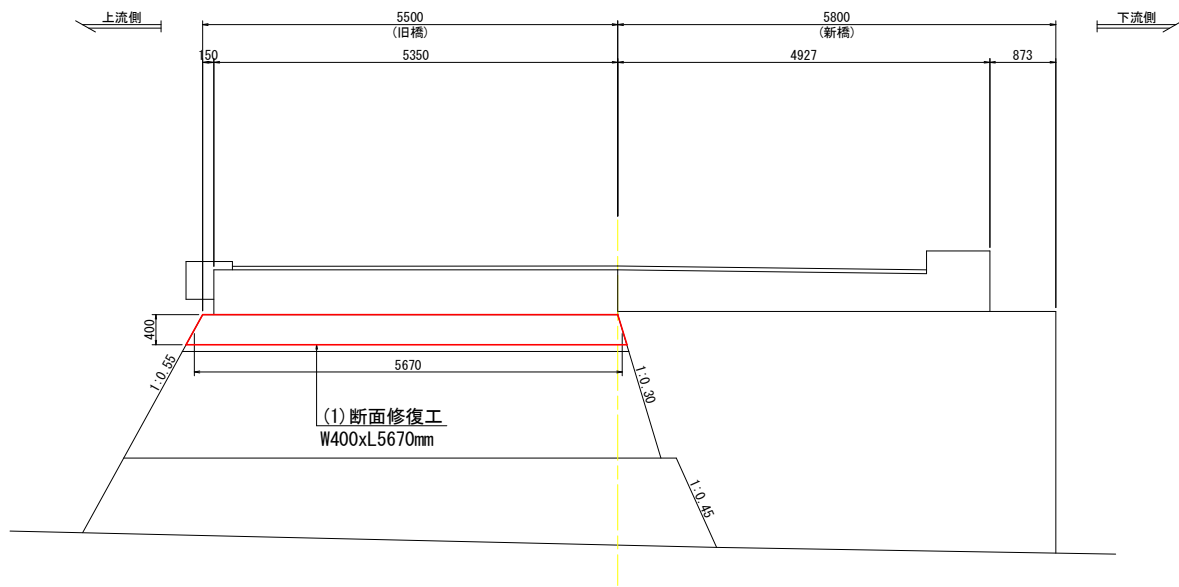
実施設計図面

工事名	R6徳島 徳島上那賀線(小谷橋) 上勝・旭橋梁修繕工事(担い手確保型)(着手日指定型)		
路線名等	徳島上那賀線		
工事箇所	勝浦郡上勝町旭(小谷橋)		
図面名	小谷橋 補修計画一般図		
縮尺	図示	図面番号	1 / 3
会社名			
事業者名	徳島県東部県土整備局<徳島>		

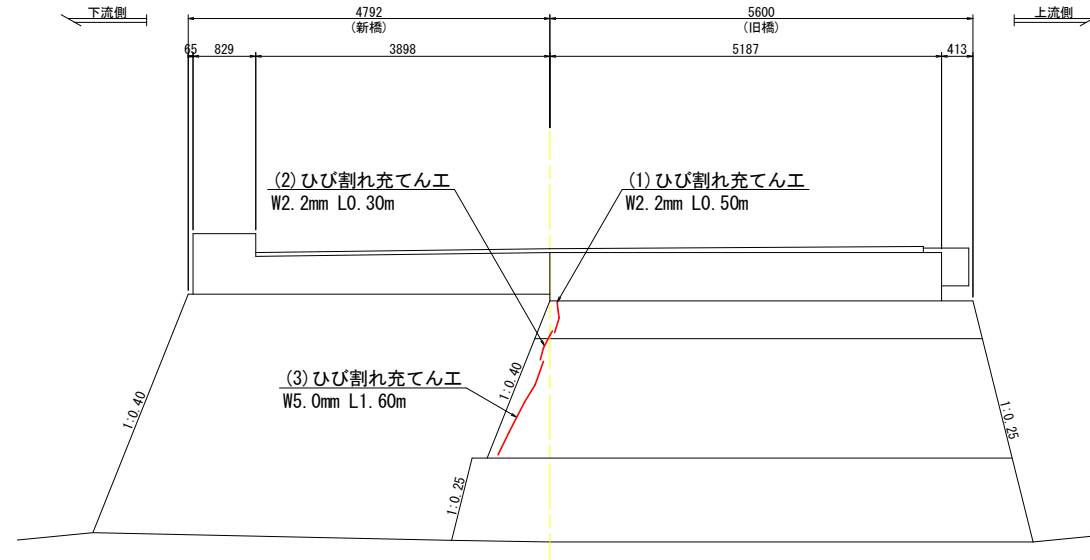
小谷橋 補修工詳細図(2/2)

下部工 補修図

A1橋台正面図 S=1:50

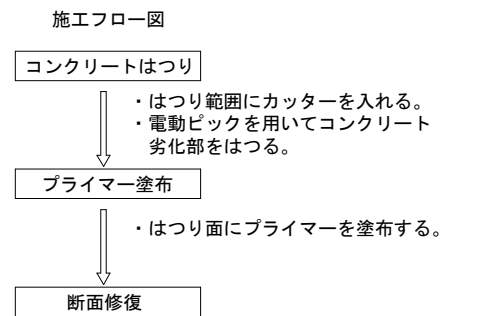
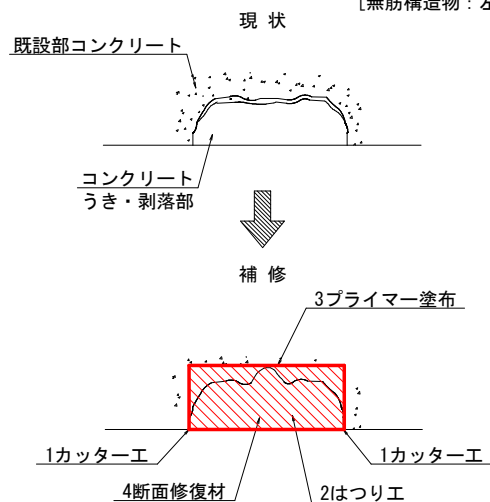


A2橋台正面図 S=1:50



断面修復工

[無筋構造物：左官工法]



- 1) ポリマーセメントモルタルをコテ塗りし、当初の形状に戻す。
- 2) 1回の埋め戻し厚は、20~30mmを標準とし、下層モルタルが十分硬化したことを確認したうえで、次層のモルタルを塗り重ねる。
- 3) 断面修復厚さは、各部位で設定している。

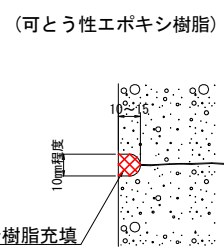
断面修復材量Vは下式より算出する。
 $V=W \cdot L \cdot t \cdot 1.18$
 ここに、
 V : 断面修復材量
 W : 修復幅
 L : 修復長
 t : 修復厚
 1.18 : ロス率

- 注記)
 1. 無筋構造物の断面修復材は、ポリマーセメントモルタルを基本とする。ただし、施工性等から材料を変更する場合は協議を行い決定すること。
 2. 修復厚さは、現橋調査結果より、下部工:30mm に設定している。
 3. 施工前に現地計測を行い、施工範囲及び施工数量について協議を行うこと。
 4. 数量表は、ロス率を加味しない値を示す。

断面修復工(左官工法)					
番号	幅(m)	長さ(m)	厚さ(m)	数量(m3)	備考
(1)	0.40	5.67	0.03	0.068	A1橋台正面
合計				0.068	

ひび割れ補修工(下部工)

[充てん工法]

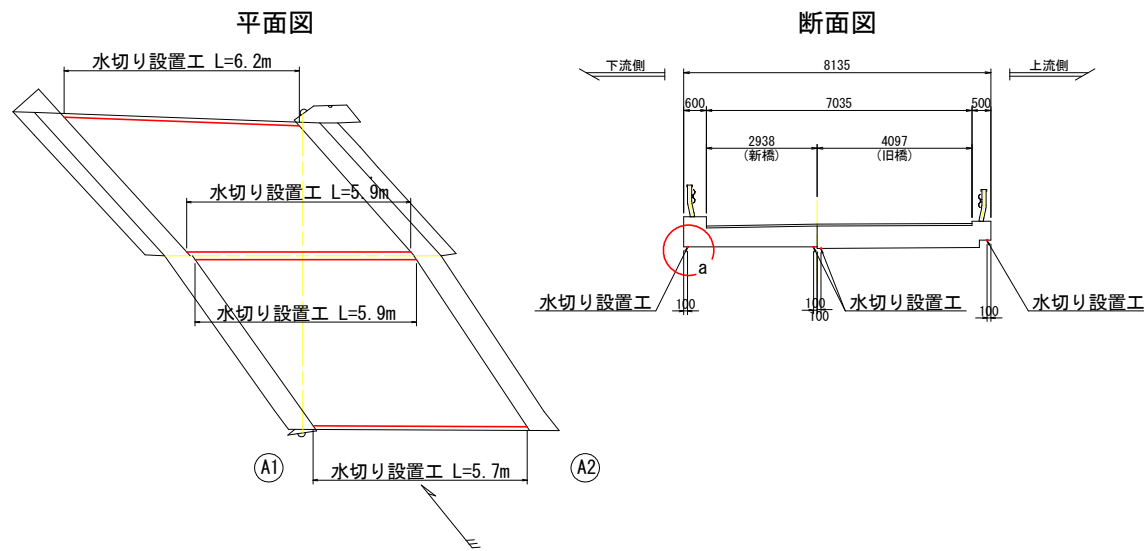


注記)
 ひび割れ深さが深い場合は、注入工法と併用すること。
 充填量は下式より算出する。
 $V=0.010 \cdot 1/2 \cdot (0.010+0.015) \cdot L \cdot 1200 \cdot 1.20$
 ここに、
 V : 充填量
 1200 : 可とう性エポキシ樹脂系充填材 比重(kg/m3)
 L : ひび割れ延長
 1.20 : ロス率

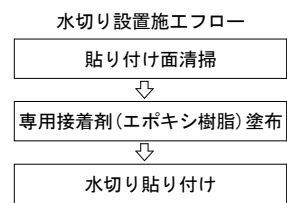
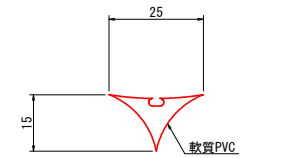
- 注記)
 1. 施工前に現地計測を行い、施工範囲及び施工数量について協議を行うこと。
 2. 充填工法の充填材量は、可とう性エポキシ樹脂系充填材を標準としている。ただし、施工性等から材料を変更する場合は協議を行い決定すること。
 3. 数量表は、ロス率を加味しない値を示す。

ひび割れ補修工(充てん工法)				
番号	幅(mm)	長さ(m)	充填量(kg/m3)	備考
(1)	2.20	0.50	0.075	A2橋台
(2)	2.20	0.30	0.045	"
(3)	5.00	1.60	0.240	"
合計			0.360	

水切り設置工詳細図 S=1:100



水切り詳細図(a部) S=1:1



実施設計図面			
工事名	R6徳土 徳島上那賀線(小谷橋) 上勝・旭橋梁補修工事(担い手確保型)(着手日指定型)		
路線名等	徳島上那賀線		
工事箇所	勝浦郡上勝町旭(小谷橋)		
図面名	小谷橋 補修工詳細図(2/2)		
縮尺	図示	図面番号	3 / 3
会社名			
事業者名	徳島県東部県土整備局<徳島>		